

# 平成21年度 香川県スクールソーシャルワーカー活用事業

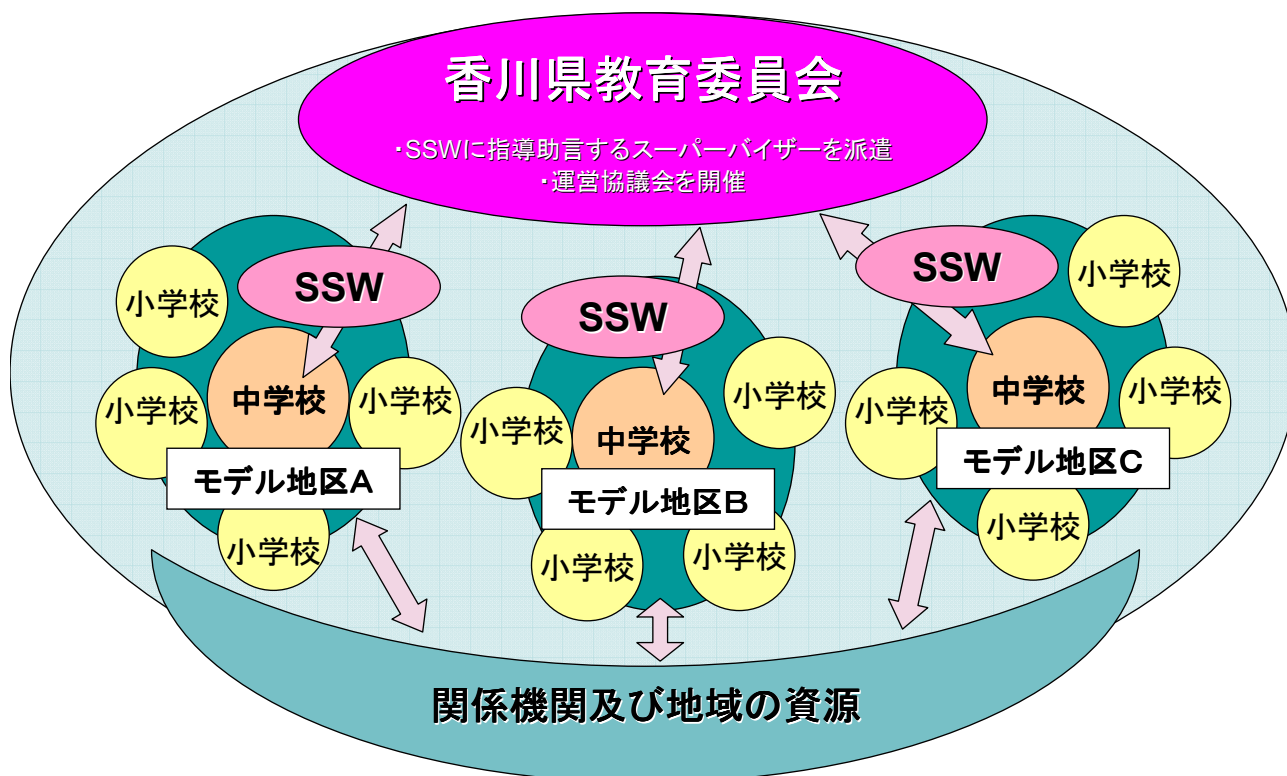
## <趣旨>

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待などの児童生徒の問題行動等について、家庭、地域、学校及び関係機関が連携してこれらの未然防止及び解消に取り組まなければなりません。香川県教育委員会では、小・中学校が連携することが重要であると考え、県内の3つの中学校区をモデル地区に指定して、スクールソーシャルワーカーを配置しました。

スクールソーシャルワーカーを中心に、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いることで、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけたり、関係機関等のネットワークを活用したりして、問題を抱える児童生徒について、具体的な対応策を立て、問題解決を図ります。

## 香川県のスクールソーシャルワーカー活用事業イメージ図

SSW: スクールソーシャルワーカー



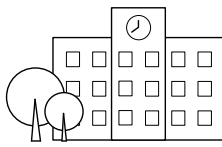
## <解説>

中学校区を地区とする5つのモデル地区に1名のSSWを配置します。そして、地区の現状や課題を把握しながら、中学校を拠点に校区内の小学校も訪問し、様々な問題を抱える児童生徒に対して、小・中学校の連携の強化を図ったり、学校内の支援体制づくりのサポートを行ったりします。また、児童生徒や保護者等にも直接関わり、地域の関係機関と連携しながら、児童生徒がよりよく生活できるよう福祉の視点をもってサポートをします。

この他に、小中学校からの依頼によってSSWを派遣する派遣事業も行っています。

### <スクールソーシャルワーカー配置事業のモデル地区>

- ・普通寺市立東中学校区  
(東中学校, 南部小学校, 東部小学校, 与北小学校, 竜川小学校, 中央小学校)
- ・三豊市立詫間中学校区  
(詫間中学校, 詫間小学校, 松崎小学校, 大浜小学校, 箱浦小学校)
- ・多度津町立多度津中学校区  
(多度津中学校, 四箇小学校, 白方小学校, 豊原小学校, 多度津小学校)
- ・高松市立鶴尾中学校区  
(鶴尾中学校, 鶴尾小学校)
- ・高松市立香川第一中学校区  
(香川第一中学校, 大野小学校, 浅野小学校, 川東小学校,)



## スクールソーシャルワーカーの活用例

### 学校の委員会(会議)で

- 不登校対策委員会
- 生徒指導委員会 等

<支援、アドバイス内容>

- ・委員会(ケース会)の進め方
- ・課題が見える資料の作り方
- ・共通理解のための基礎
- ・支援体制づくりへのアドバイス
- ・スクールカウンセラーと連携した総合的な見立て
- ・子どもへの具体的な働きかけ
- ・関係機関との連携への手立て

### 学校の教員に向けて

- 現職教育
- 校内研修
- 学年団会 等

<相談、講話内容>

- ・児童生徒への接し方
- ・保護者への対応
- ・課題の捉え方とその解決へ向けて
- ・子どもの中にある資質や資源の見つけ方
- ・子どもが持っている資源の繋ぎ方
- ・コミュニケーションの取り方(演習)



スクールソーシャルワーカー  
活用事業



- OPTA研修会
- 保護者懇談会
- 教育講演会 等

<研修内容>

- ・子どもの元気を引き出す言葉かけ
- ・子どもの中にある資質や資源の見つけ方
- ・生き方を豊かにする視点
- ・環境が子どもに与える影響
- ・問題よりも子どもの可能性を見つける方法

保護者に向けて

- 学年団集会
- 特別活動、道徳、生徒会活動
- 個人相談 等

<授業、講演内容>

- ・元気の素を見つけよう
- ・自分を再発見しよう
- ・ありのままの自分に自信をもとう
- ・自分や友だちを大切にすることは
- ・よりよい友だち関係を作るために
- ・いじめをしないさせないクラス作り
- ・楽しい仲間作り

児童生徒に向けて